

山正ニュース

株式会社 山 正

本 社 ☎058-271-4468 岐阜県岐阜市市橋4-5-15
 岐阜営業所 ☎058-271-4466 岐阜県岐阜市市橋4-5-15
 可児営業所 ☎0574-62-5228 岐阜県可児市川合345-1
 富山営業所 ☎0766-55-3882 富山県射水市大江207-1
 飛騨営業所 ☎0577-72-4866 岐阜県高山市国府町村山857-2

2021年5月号 (通巻144号)

<https://www.yamasyou.com/>

§1 2020年度産 米食味ランキング発表

今年も日本穀物検定協会から2020年産米の食味ランキングが発表されました。出品数は154銘柄で、食味評価専門家が、味や香りなど6項目を評価しました。最高ランクの「特A」に格付けされた産地品種銘柄は53(昨年より1減少)、次に高い「A」評価は77銘柄(昨年より4増加)でした。

154銘柄のうち、令和元年産から2年産にかけて、評価に変化のなかったものが92銘柄(「特A」36銘柄、「A」44銘柄、「A'」12銘柄)でした。ランクアップしたのは26銘柄で、「A」⇒「特A」12銘柄、「A'」⇒「特A」2銘柄、「A'」⇒「A」12銘柄、逆にランクダウンは27銘柄で、「特A」⇒「A」15銘柄、「A」⇒「A'」12銘柄でした。

初めて特Aを取得したのは、山形「雪若丸(庄内)」、埼玉「彩のぎずな(県北、県西)」、愛知「ミネアサヒ(三河中山間)」、鳥取「コシヒカリ」、長崎「なつほのか」の6銘柄でした。地元銘柄では、岐阜県・飛騨産の「こしひかり」が2年連続で「特A」を取得しました。

令和2年度の水稲作柄は、「東高西低」で、東日本の主要産地では良好でしたが、西日本では災害や害虫被害(特にウンカ被害)で芳しくありませんでした。しかしながら、食味ランキングでは逆に東日本が苦戦しており、8年連続特Aであった「あきたこまち」をはじめ、東北の主要銘柄など、前回の特Aからランクが下がった15銘柄のうち、10銘柄が東日本産でした。

近年は、「特A」と「A」の出入りが激しく、気候変動により、従来の方法では食味向上が難しくなりつつあると思われます。また、作況指数がよいから食味が良いわけでもない事も、如実に現れており、「質」をとる栽培と「量」を取る栽培を使い分けていく事が重要になると思われます。

また、近年は特A銘柄が急増し、差別化が難しく、販売増に結びつきづらくなっているだけでなく、売価も下がってきており、過当競争になっています。ブランド米が増える一方で、中食・外食用の業務米の生産が減少している現象も考慮すると、今後の稲作経営では、どんな品種、銘柄をどれだけ栽培するのか?質を上げていくのか?量をとっていくのか?と様々な戦略を持って、栽培計画を立てていく必要があると思われれます。

—資料— 令和2年産米の食味ランキング(日本穀物検定協会)

特A (53銘柄)		R2年産	R元年産	H30年産
前年度も「特A」(36銘柄)				
北海道	ななつぼし	特A	特A	特A
北海道	ゆめぴりか	特A	特A	特A
北海道	ふっくりんこ	特A	特A	A
青森	津軽 青天の霹靂	特A	特A	特A
岩手	県中 銀河のしずく	特A	特A	特A
宮城	つや姫	特A	特A	特A
秋田	中央 ひとめぼれ	特A	特A	特A
山形	村山 つや姫	特A	特A	特A
福島	会津 コシヒカリ	特A	特A	特A
福島	中通 コシヒカリ	特A	特A	A
福島	浜通 コシヒカリ	特A	特A	特A
福島	中通 ひとめぼれ	特A	特A	特A
茨城	県央 コシヒカリ	特A	特A	A
千葉	県北 コシヒカリ	特A	特A	A
新潟	上越 コシヒカリ	特A	特A	特A
新潟	魚沼 コシヒカリ	特A	特A	特A
福井	いちほまれ	特A	特A	-
長野	東信 コシヒカリ	特A	特A	特A
岐阜	飛騨 コシヒカリ	特A	特A	A
静岡	東部・中部・西部 きぬむすめ	特A	特A	A
静岡	西部 にこまる	特A	特A	特A
滋賀	コシヒカリ	特A	特A	A
兵庫	県北 コシヒカリ	特A	特A	特A
兵庫	県南 きぬむすめ	特A	特A	特A
鳥根	つや姫	特A	特A	特A
岡山	きぬむすめ	特A	特A	特A
香川	おいでまい	特A	特A	A
愛媛	にこまる	特A	特A	A
高知	県北 にこまる	特A	特A	特A
高知	県西 にこまる	特A	特A	A
佐賀	夢しずく	特A	特A	特A
佐賀	さがびより	特A	特A	特A
長崎	にこまる	特A	特A	特A
宮崎	西北山間 ヒノヒカリ	特A	特A	A
宮崎	霧島 ヒノヒカリ	特A	特A	A
鹿児島	県北 あきほなみ	特A	特A	特A
前年度「A」からランクアップ(12銘柄)				
山形	最上 はえぬぎ	特A	A	A
福島	会津 ひとめぼれ	特A	A	特A
茨城	県南 コシヒカリ	特A	A	A
群馬	北毛 コシヒカリ	特A	A	A
埼玉	県西 彩のぎずな	特A	A	-
埼玉	県北 彩のぎずな	特A	A	A
長野	南信 コシヒカリ	特A	A	A
鳥取	コシヒカリ	特A	A	A
鳥取	きぬむすめ	特A	A	特A
広島	北部 あきさかり	特A	A	A'
福岡	元氣つくし	特A	A	A
熊本	県南 くまさんの力	特A	A	A'
前年度「A'」からランクアップ(2銘柄)				
新潟	下越 コシヒカリ	特A	A'	A
愛知	三河中山間 ミネアサヒ	特A	A'	A
前年度非対象銘柄(2銘柄)				
山形	庄内 つや姫	特A	-	-
山形	庄内 雪若丸	特A	-	-
新規対象銘柄(1銘柄)				
長崎	なつほのか	特A	-	-

§ 2 新規成分テネベナール®を含む 規殺虫剤「ブロフレア®SC」の作用について

三井化学アグロ株式会社から、新規作用機作を有する殺虫剤として「ブロフレア®SC」が発売になりましたので、今月はこの農薬についてご紹介します。

「ブロフレア®SC」は、新規作用機構を有する“テネベナール®”（一般名：プロフラニド）を有効成分とする野菜・畑作物のチョウ目・ハムシ害虫を対象とする殺虫剤になります。

【ブロフレア®SC の特徴】

有効成分テネベナール®の作用性は、世界で初めて殺虫剤の作用機構分類グループ30に分類されました。GABA 作動性塩素イオンアロステリックモジュレーターに作用し、受容体を拮抗することで神経系に作用し、麻痺、痙攣を起こさせることで、速やかに殺虫効果を発現します。※ Crop Life International 傘下の殺虫剤抵抗性対策委員会（Insecticide Resistance Action Committee; IRAC）による分類

散布後数時間で作用を発現し、速やかな殺虫効果を示します。効果の持続性、残効性も長く、葉面散布後3週間程度は、効果が持続します。耐雨性に優れており突然の雨があっても、効果の持続性に変わりはありません。近年問題となっている薬剤抵抗性害虫にも有効で、既存剤に抵抗性を獲得したコナガやシロイチモジヨトウにも効果を示します。

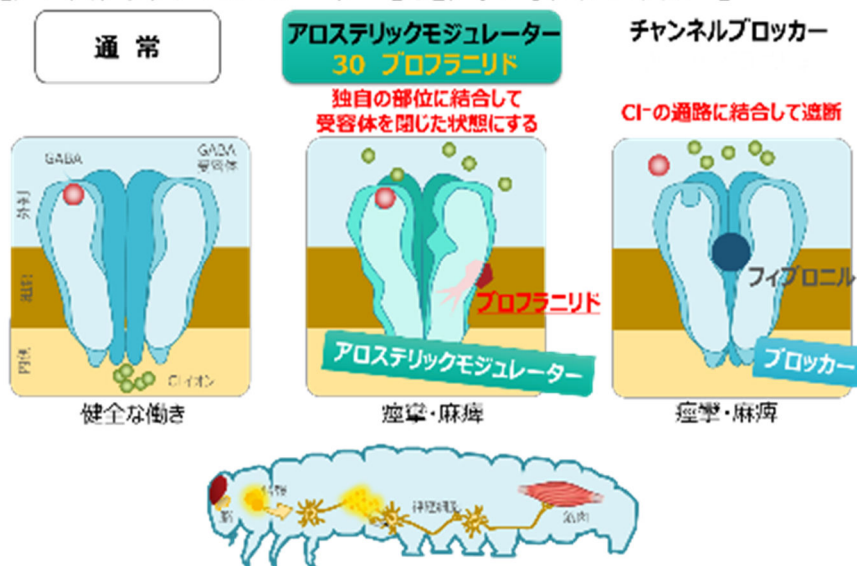
チョウ目・ハムシ害虫の専門剤であり、チョウ目とキスジノミハムシ（成虫）が同時防除できるので、特にあぶらな科野菜に最適です。



IRAC殺虫剤作用機構分類

主要グループと一次作用部位	サブグループ	有効成分
30 GABA作動性塩素イオン アロステリックモジュレーター (神経作用)	メタジアミド系	プロフラニド
	イソキサゾリン系	フルキサメタミド
28 リアニン受容体モジュレーター (神経および筋肉作用)	ジアミド系	クロラントラニプロール シアントラコシアプロール フルベンジアミド
2 GABA作動性塩素イオン チャンネルブロッカー (神経作用)	2A 環状ジエン有機塩素系	
	2B フェニルピラゾール系 (フィプロール系)	エチプロール フィプロール

GABA【アロステリックモジュレーター】と【チャンネルブロッカー】



適用作物としては、キャベツ、はくさい、だいこん、かぶ、ブロッコリー、カリフラワー、非結球あぶらな科、葉菜類、レタス、非結球レタス、ねぎ、えだまめ、かんしょ、きく、希釈倍数 2000~4000 倍で、使用回数は3回以内、使用時期は収穫前日までになります。